

不安いっぱいの中で始まった仕事を 頑張れる理由

私は新卒で、施設初めての音楽療法士として入職致しました。大学で学んできたとは言え、配属当初は、音楽療法士が自分しかいないため、不安でいっぱいでした。

そんな不安の中で音楽療法を始めて、ご利用者の色々な言動に何度も救われました。

ご利用者の中には、私を見ると「今日は音楽をしないの？」と声を掛けてくださる方、音楽療法を行っていない別のユニットから、「音楽が聴きたいから…」と、車椅子を自操して来てくださる方、「あなたと歌う夢を見たんだよ！」と、とても楽しそうに言ってくださる方、普段あまり話したり声を出さない方が、音楽療法中に、歌詞を見ながらとても大きな声で歌い、笑顔で「楽しい！」と伝えてくださったりと。

正直、音楽療法は他のリハビリと違って、絶対に必要不可欠とは言い難いですし、効果がすぐに表れるわけでもなければ、知名度も低いです。入職前はそんな難しい仕事を、大学を出たばかりの新卒が担えるのかと不安でした。

しかし、今は違います。音楽療法を続けていくうちに、今行っていることが、確実にご利用者の心にプラスの影響を与えることが出来ているのではないかと感じる場面がいくつもありました。

私は、日頃から支えて頂いている職場の方だけでなく、何よりもご利用者の笑顔と「楽しかった」「ありがとう」「また来てね」という言葉に、何度も救われています。それだけで頑張ろうと思えるし、自信にも繋がっています。心に響いた分、それ以上にご利用者に返していけるように努力していきたいです。

(専門職)

